

赤ちゃんの頃から絵本との 出会いを

図書館



☎ 中央図書館 ☎ 258-6464

>> 図書館まで職員がエスコート！ 1対1の「ブックスタート」。

乳幼児健診後、絵本を楽しむ体験と絵本をプレゼントする「ブックスタート」。三芳町では1対1の形式で行い、会場まで職員がエスコート。目の前に本があるため子どもは本により集中することができ、パパ・ママも安心してお話できるのは「小さなまち」ならではの。



>> わらべ歌 or 子守歌の絵本を 出生届提出時にプレゼント！

赤ちゃんの言葉をはぐくむ絵本や育児用品を、出生届提出時にプレゼント。愛情豊かな言葉のシャワーを浴びて、すくすくと育つことを願う、今年7月より始まった子育て応援事業です。



>> きれいに陳列！きれいに保管！ 本を借りたい環境づくり。

素敵な本がきれいだったら、さらに嬉しい。劣化した本はランクにより買い替えを検討し、古本は学校の図書室へ。読みたい本が見つかるように、きれいにわかりやすく並べます。



よみ愛
ブック
LOVE



2歳児歯科健診後のブックスタートプラスの帰りに、図書館で愛娘をぎゅとするママ。何度も何度も抱きしめます。

子育て家庭に寄り添う「小さなまち」の想いが詰まった子育て支援を特集します。

援の現場を見てみると、それぞれの事業の中に、きめ細やかであたたかな三芳町らしい取り組みがあることに気づかされます。
今月号の特集は「ぎゅっ」。子どもはもちろん、子育て家庭に寄り添う「小さなまち」の想いが詰まったあたたかい子育て支援の取り組みを紹介します。

「小さなまち」の想いが詰まった子育て支援

図書館、保健センター、子育て支援センター、児童館。町の子育て支

子どもはいつの時代も「宝」であり、その宝を育てる親や家族をサポートするため、自治体では多様な事業が展開されています。子育て支援の充実が定住人口の増加や町の活性化、子育て世代の町への愛着形成につながることは明らかで、三芳町でも、子育て家庭へのサポートは重点プロジェクトとして位置づけられています。

「子どもを育む」

厚生労働省が今年発表した人口動態統計によると、2017年に生まれた子どもの数は約94万6千人で、前年よりも3万人余り減少し、過去最少を更新しました。出産・育児と仕事の両立や子育ての負担感の増大が原因と考えられており、これを緩和し、安心して子育てができるような様々な環境づくりが必要とされています。

か わい我が子をぎゅっと抱きしめる。親が感じる幸せな時間。そして、その親も、子どもの頃は親からぎゅつと――。